

「第4回松尾地域賑わい空間創出研究会」を開催しました！

第4回のまつ研では、北星学園大学客員教授の秋山哲男先生から松尾出張所跡地を活用した賑わいを創出する地域づくりの考え方について講義をしていただきました。



他地域での事例を示していただきながら、地域づくりについて、どのような点に気をつければよいかを学びました。

特に、「役に立つ」というキーワードから、これから計画する施設が松尾地域のみならず市全体、さらには社会に役立つものであること、また、松尾地域に「役に立つ」人材を育てることが大事であるということを知りました。

この講義から得られた新たな視点も参考にしながら、「食」と「健康と文化」の2つのコンセプトで、跡地に必要な機能とその効果について、参加者26名により活発な意見交換を行いました。今後策定する施設計画（案）につながる有意義な研究会となりました。

＜ まつ研の進め方 ＞

第1回 【H23年9月11日】
松尾地域の“賑わい”を考える。

第2回 【H23年10月1日】
賑わいづくりのアイデアを絞り込む。

第3回 【H23年10月23日】
跡地につめこむ施設機能を具体化する。

第4回 【H23年12月11日】
専門家の講義を聞き、跡地で実現する事柄の確認と課題の整理をする。 ※本通信にて報告

第5回 【H24年1月21日】
参考施設を訪問し、施設イメージを膨らませる。

第6回 【H24年2月26日】（予定）
跡地の活用イメージを具体化するとともに、跡地利用計画（案）を検討する。

第7回 【H24年3月17日】（予定）
取りまとめた跡地利用計画（案）を基に、今後の取り組みについて検討する。

第4回研究会開催概要

日時：平成23年12月11日 13:30～16:00
場所：松尾Ⅰ 保健福祉センター

テーマ：「今まで検討した内容を1つのコンセプトに整理する」

第4回研究会では、第1回～第3回の研究会で出された多くのアイデアについて整理することにしました。

今までの研究会での話し合いから、「食」と「健康と文化」の2つのコンセプトを取り上げ、それぞれ跡地をどのように利用すべきかを話し合いました。

●グループ討議では

「食」と「健康と文化」の2つのコンセプトから、跡地に必要な機能とその効果について検討しました。

●専門家による講義では

松尾地域の地域づくりにあたり、計画の考え方やコミュニティビジネスなどについて、事例を通じて広く話題提供がなされました。

第4回研究会の進行プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 専門家による講義
3. テーマについてグループ毎の話し合い
4. グループ毎の発表
5. 閉会のあいさつ



《コンセプトに基づき、必要な機能について考えました》

コンセプト①：山武市の素材を用いた食の拠点施設

グループA

【たべる】⇒食べ物を提供する
・創作料理メニューコンテスト
・レストラン ・屋台村

【する】⇒体験教室を通じて製品を生産する
・食品加工体験教室 ・農業体験
・田舎暮らし体験 ・わらじ作り体験

【つくる】⇒加工食品をつくる
・太巻き寿司、おしんこ
・伝統菓子、米菓 ・新しい製品の開発

【うる】⇒地域の商店と協力する
・出前
・地元商店の衰退の防止

グループB

【たべる】⇒配達サービスの拠点にする
・会社等へ弁当の配達
・独居老人へ給食の配達サービス

【する】⇒農業体験を中心に活性化する
・農業体験の実施 ・体験用農機具の収集
・宿泊施設を設ける

【つくる】⇒松尾の食材を提供する
・松尾で生産しているものを使用して、提供する

【うる】⇒松尾の農産物を販売する
・農産物の直売所を設ける
・松尾の農産物を改良して売る

コンセプト②：健康と文化の拠点施設

グループC

【見る】⇒美術品や史料を鑑賞する
・散在している史料 ・アート
・個人の作品

【学ぶ】⇒ビジネスの拠点にする
・雇用創出、オフィス機能の完備
・パソコン教室の開催

【動く】⇒トレーニングの場とする
・トレーニング設備の完備
・リタイヤしたトレーナーの再雇用

【集まる】⇒高齢者や子どもの集う場とする
・送迎場所の整備 ・高齢者の交流の場
・子どもが遊べる場

～第4回研究会の検討結果のまとめ～

- ・跡地には、山武市（地元）でつくられる素材を提供する場として活用することが必要
- ・「食」は、施設のコンセプトによらず必要なテーマとして考えられる（カフェ、レストラン等は必要）
- ・跡地を「体験」、「学ぶ」ための施設として位置付け、地元産品や昔ながらのモノ、コトなど、松尾地域の特色や伝統を通じ地域が交流できる場とするだけでなく、地域外からも人が訪れる場として活用することが必要
- ・人を集めるアイデアに対し、誰がどのように行っていくべきかという点を明確にすることが必要

～今後の展開として～

これまでの研究会で示されたキーワード【「食」、「加工、販売」、「直販所」、「地元食材」、「交流」、「学び」、「農業」、「健康」】から松尾地域の賑わいを創り出す跡地の活用イメージを具体化します。

その跡地の活用イメージでは、地域の人を楽しめる場所とすることが重要であり、地域の人が集まってくる場所にならないと地域外からは集まってこないという観点から検討を行います。